

エマルジョン・可溶化物の調製法:界面活性剤と添加剤の選び方**講 師： 野々村 美宗 氏****山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学専攻 准教授**

エマルジョン・可溶化物を調製する上で最も大切な界面活性剤の選び方や添加剤の効果について講義します。特に、クリーミングや合一を防止するための処方例や、転相乳化法・液晶乳化法など、より微細なエマルジョン滴を調製するために開発されたテクニックについて学びます。また、薬剤・防腐剤・油剤を溶かし込むことのできる可溶化物の調製法についても解説します。最後に、最近話題の界面活性剤を用いない高分子乳化、ピッカリングエマルジョン、より複雑な構造を付与できる多相エマルジョンについても紹介します。

【講師経歴】

花王(株)入社。化粧品、身体洗浄料の商品開発研究に従事。2007年5月より現職。

【活動内容】

- 研究概要: 界面科学、化粧品学、エマルジョン製剤・触感に着目した材料の開発
- 所属学会: 日本化学会、日本物理学会、日本油化学会、色材協会、日本化粧品技術者会
- 著書: 『化粧品 医薬部外品 医薬品のための界面化学』フレグランスジャーナル社(2015年)

開催日時	2017年2月23日(木) 13:30~16:30	【会場】 ちよだプラットフォームスクウェア 503会議室 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
受講料	42,000円(税込) ※資料代含 *メルマガ登録者 39,000円(税込) *アカデミック価格 25,000円(税込)	

★2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合2人目は無料です。

★【セミナー対象者】化粧品・食品・医薬品・化学品およびその原料メーカーに勤務する研究者・技術者。基礎からわかりやすく解説しますので、予備知識は不要です。

★【セミナーで得られる知識】①乳化剤の上手な選定と活用 ②安定なエマルジョンの調製技術 ③微細なエマルジョンの調製技術 ④たくさんの油を溶かし込む可溶化技術 ⑤乳化・可溶化を利用した処方設計の実例

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 乳化と可溶化	・D相乳化法
2. 界面活性剤とは	・液晶乳化法
3. エマルジョンの保存安定性の高め方	5. 多相エマルジョンの調製法とその応用
・ α ゲル乳化法	6. 薬剤・防腐剤・油剤をたくさん解かせる可溶化技術
・粘土鉱物乳化法	7. これからの実用化が期待される乳化・可溶化技術
4. 微細なエマルジョン滴の作り方	・ピッカリングエマルジョン
・転相乳化法	・ドライウォーター
・転相温度乳化法	・サーファクタントフリーエマルジョン

弊社記入欄		セミナー申込書	
セミナー名		エマルジョン・可溶化物の調製法:界面活性剤と添加剤の選び方	
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		会社名(団体名)	TEL:
		住所 〒	FAX:
			E-mail:
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
		氏名	
お支払方法		銀行振込・その他	お支払予定
			年 月 日頃

■申込方法: セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■申込先: (株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789